

滑 建 第 176 号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 金 井 道 夫 殿

滑川市長 中 屋 一 博



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙により提案いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

富山県滑川市

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も重要なインフラであり、その整備は全国民が長年にわたり熱望してきているところである。少子・高齢化が進んでいる中、活力ある地域づくり・都市づくりを推進するとともに、地球規模での環境問題に対処し、安全で安心できる国土の実現を図るためには、高速道路を含む道路整備は、一層重要となっている。

特に、富山県は全国でも有数の車の保有率を保ち、滑川市においても車に対する依存度が高く、かつ、冬の降雪時においても快適な生活が営める「全県ネットワーク社会」を実現させるため、豊かな自然環境や雪国文化などの地域特性を活かし、安全で信頼性の高い道路網の整備促進が緊急の課題であります。

市民が、安全・安心・楽しく・幸せに生活できるよう施設等の高質化をも考え、時代に即応し、広域的見地にたった施設の整備をお願いしたい。

今後の具体的な道路整備を示した中期的な計画の作成が進められるにあたり

- ・一般国道8号バイパスの4車線化整備の促進
- ・道路施設の老朽化が進む中、施設の延命・更新が緊急の課題であり、それに伴う財源の確保
- ・雪寒地域における、交通・災害・防災の観点にたった「雪」対策として堆雪帯の確保
- ・CO2削減対策として、LRT(富山市)などの公共交通機関と連携した道路整備
- ・ETCを利用した料金の値下げ策など高速道路の利用促進

等の意見を提示します。

遅れている地方の道路整備に配慮した道路予算の確保はもとより、引き続き道路整備の推進が強力に図られるよう、特段の配慮をお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

富山県滑川市

○ 現状

①滑川市内を通過する一般国道8号バイパスは暫定2車線で供用開始されているが、滑川市稲泉から上市町久金間で近年の激増する交通需要に追いつけず、交通混雑が顕著となっている。

②近年の都市型豪雨により、市内中央部を流れる二級河川沖田川の市街地(河口周辺)では今年7月8日の集中豪雨により床上浸水(2戸)や床下浸水(44戸)の被害があった。県では放水路工事を平成14年度に着手し平成28年度の完成を目標に進めている。

○ 課題

現在、上市川橋梁や有金高架橋で鋭意工事が進められているが、道路整備に対する県民ニーズが高いことから、慢性的な交通渋滞を解消すべく、早期に全線四車線化を図り、交通渋滞を解消することが必要であり稲泉から上市川間の同時供用開始が急務である。

沖田川放水路の完成が平成28年度の予定であるが、これまでの間の一般国道8号バイパスの四車線化に伴う雨水対策が懸念される。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

富山県滑川市

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
①高速道路は利用者の立場でETCの活用促進(高速道路)	利用者は通勤割引、早朝割引、深夜割引を活用するが、時間と距離(100km)があわないケースが多い。 料金表が時間帯、平日と休日等で複雑。	・時間帯を日中と夜間、距離制限無しにすると利用しやすく高速道路の活用が増える。 ・100kmで降りずに目的地まで行くため、ICの混雑が軽減され、CO2の削減につながる。	